

入社半年の私でも作れた！ ローコードアプリの作り方

株式会社ソフトクリエイト

技術統括本部 デジタルサービス事業部 DX推進部 DX推進第2G

加藤 康太

社内座席制度の悩み

フリーアドレスのお困りあるある

どこにいるかが把握できない



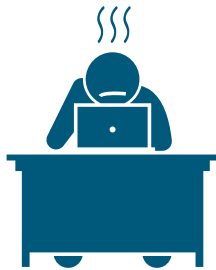
コミュニケーションが
取りづらい



結局固定席になりがち



手軽に座席の変更がしづらい



導入が手間に



専用システムだと
コストがかかる



業務改善で求められていること

- ✓ PC・スマホで、座席の利用登録ができる
- ✓ 誰がどこを使用しているかの確認ができる

- ✓ 座席の配置換えにも柔軟に対応
- ✓ 新規ライセンスの購入が不要

Power Platformならできる

拡充面

必要な機能だけを実装でき、後から追加実装も可能

コスト面

Teamsが使えるライセンスであれば開発も利用も可能

開発面

ローコードで開発できるため、プログラミング未経験者でもとっつきやすい

機能面

キャンバスアプリを作ることで、求める機能が実装可能

Teamsのライセンス
があればOK！



Teams

今回はTeams上で動作するPower Appsアプリを構築。通常のキャンバスアプリに比べて一部機能が制限される



Power Apps

ローコード開発ツールとしてキャンバスアプリを使用。馴染みのある操作感と関数を用いてアプリを構築可能



Dataverse

クラウドで動作するデータベース（のようなもの）。SQLを用いることなくテーブルを設計することができ、高度なセキュリティ機能も搭載

社内座席表座席アプリの機能

番号	機能	説明
1	座席の利用開始	座席の場所をクリックして利用開始ボタンを押すと、名前、メールアドレス、座席コードを紐づけてDataverseに登録する機能
2	座席の利用中止	ユーザーの名前を基に、Dataverseのデータと比較して利用を中止する機能
3	名前や座席コードで検索	名前・メールアドレスを基に対象がどこを利用しているか、座席コードを基に誰が使用しているかを表示する機能
4	QRコード読み取りによる座席の利用開始	スマホ用に、カメラで読み込んだQRコードから座席を自動で分析し、利用開始を行う機能
5	座席表示	アップロードしたフロアの座席の画像をアプリ内に表示し、各座席の場所をクリックできるようにする機能



社内座席表アプリ

1F

10人 / 50人

2F

15人 / 40人

3F

23人 / 40人

4F

18人 / 50人

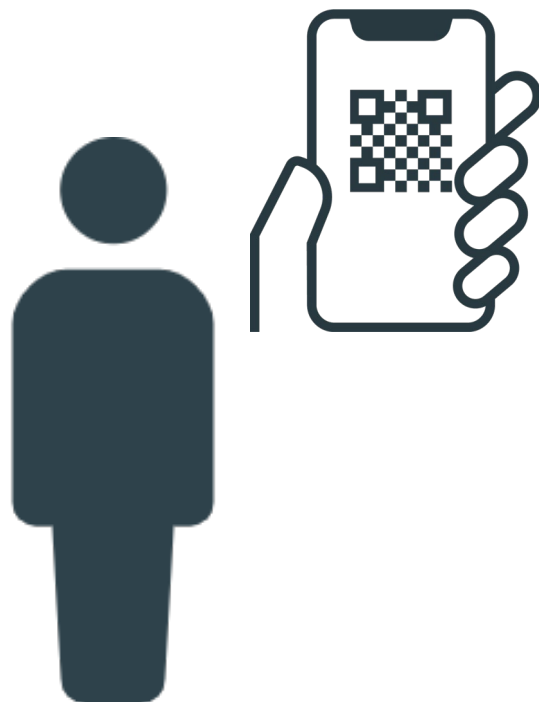
5F

25人 / 50人

終了

QRコード読み取り機能

スマートフォンのカメラからQRコードを読み取って登録することも可能！



アプリ起動



社内座席表アプリ

1FのテーブルCを
使用しますか？

はい

いいえ

座席の使用をやめる

ブラウザアプリを開く



社内座席表アプリ

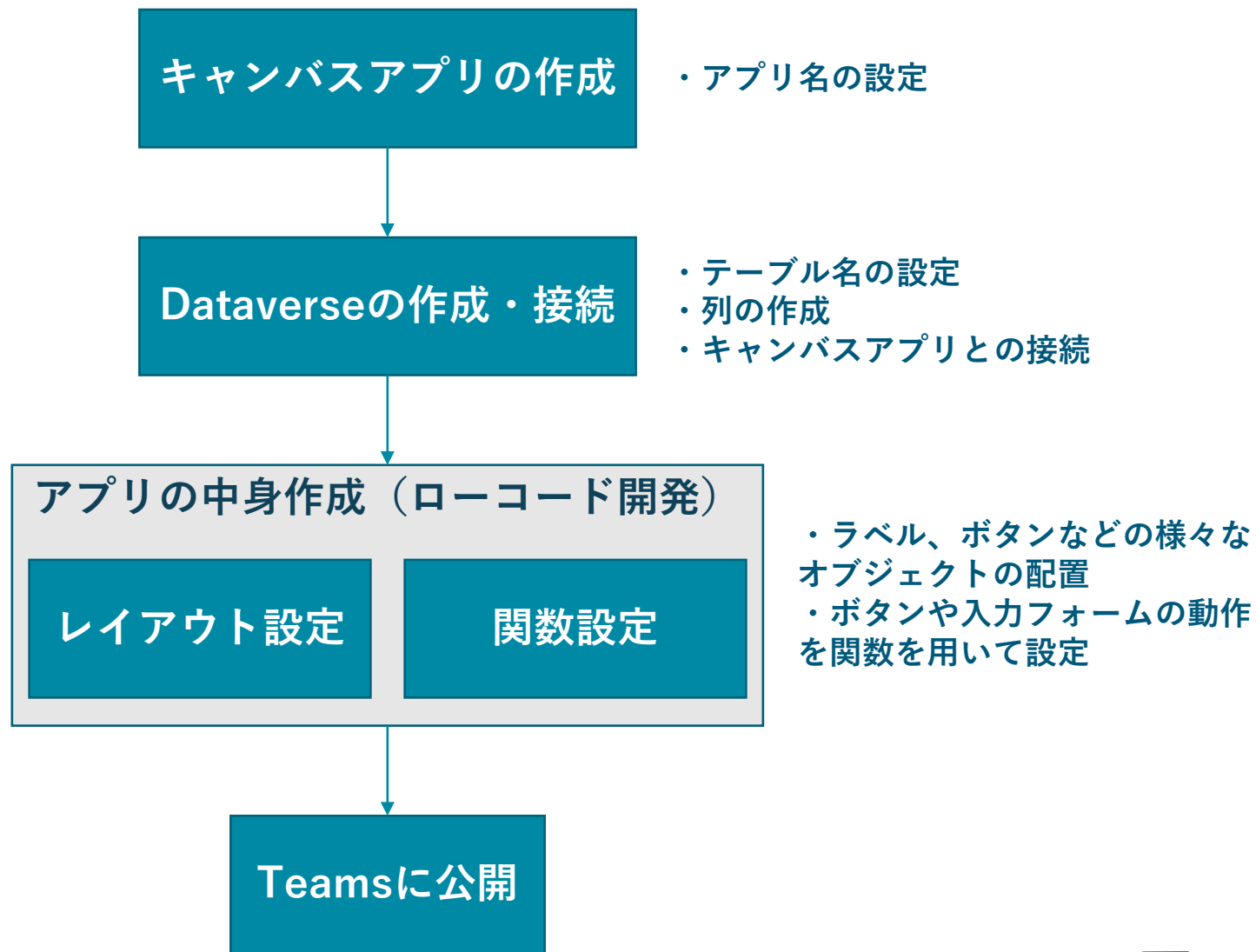
ソフトクリエイイトは、
1FのテーブルCの
利用を開始しました！

利用状況の確認

座席の使用をやめる

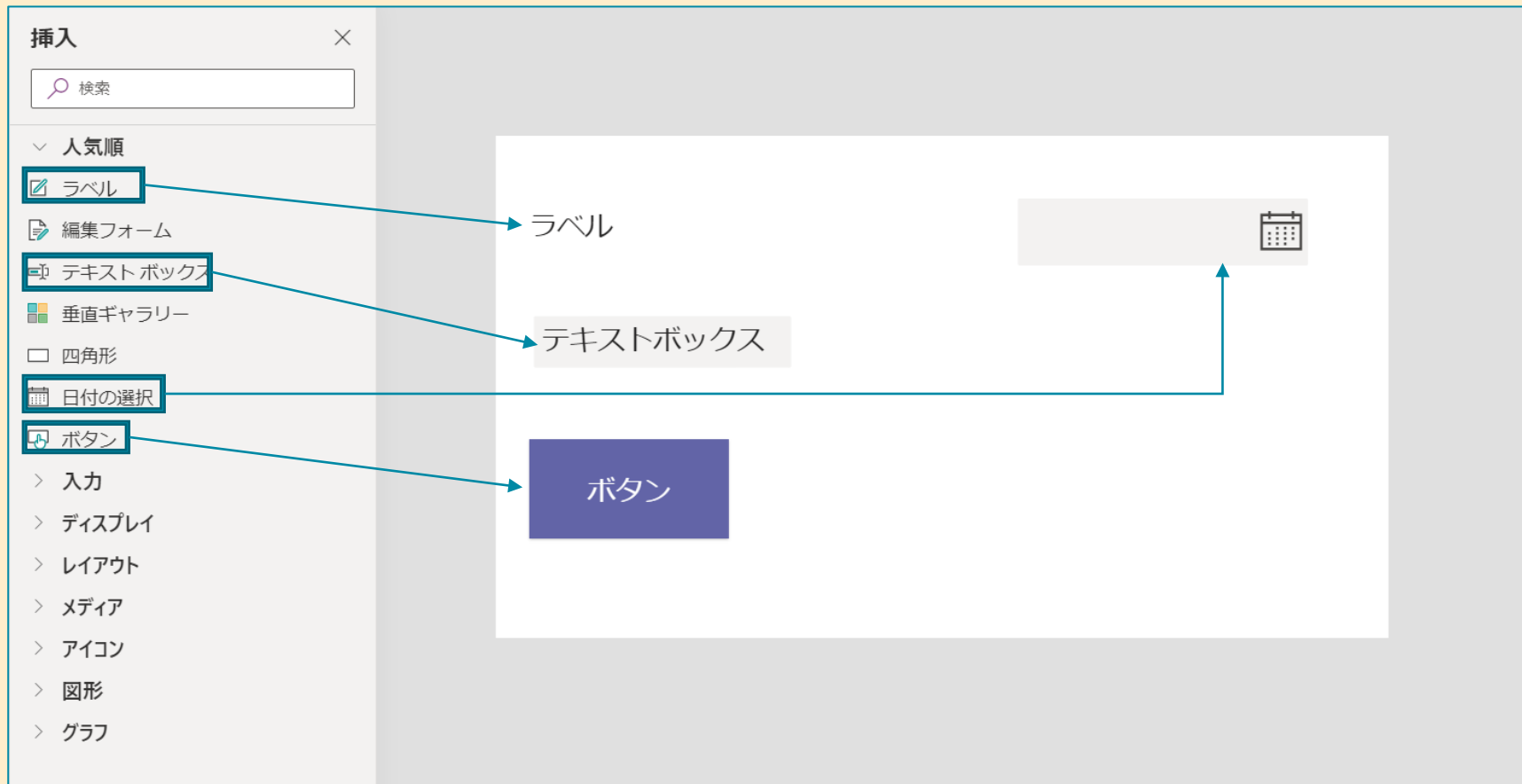
アプリの終了

作成の流れ



Microsoft Power Apps開発のポイント①

パワーポイントのような動作でオブジェクトを配置可能



Microsoft Power Apps開発のポイント②

Excelライクな関数で作り上げられる

ローコード開発でサクッとカタチに！

- ・ If~, Switch~
- ・ AND, OR~
- ・ Now() : 現在日時取得
- ・ Concatenate() : 文字列結合
- ・ Navigate() : ページ遷移
- ・ Set(), Collect() : 変数の設定

など...

The screenshot shows the 'Button' configuration pane in Power Apps. The 'OnSelect' action is set to 'Navigate(Screen1)', which is highlighted with a red rectangular box. The pane also shows other properties like 'ButtonType' (Primary) and 'Text' (ボタン).

ボタンを押すと"Screen1"にページが遷移する処理がこの一行で書けます！

Microsoft Power Apps開発のポイント③

Dataverseを用いることで手軽にDBが利用可能！

- DBの構築や列の追加もSQL無しで簡単に行える
- 値の種類（テキスト、数値、日付、メールアドレス等）が設定可能
- Power Apps以外のサービスでも同じDataverseを利用可能

The screenshot displays the Microsoft Power Apps interface for a table named '従業員マスタ' (Employee Master). The table has a column named 'Name' with a sort icon. A dialog box titled '新しい列の追加' (Add new column) is open, prompting the user to enter a column name and select a data type. The dialog shows '件名*' (Column name) with a placeholder '列名を入力してください' (Please enter column name) and '種類*' (Type) set to 'テキスト' (Text). Below the type selection, it says 'テキストの1行です。' (1 row of text). At the bottom, there are buttons for '作成' (Create) and 'キャンセル' (Cancel).

Microsoft Power Platformの他サービスとの連携

他のサービスと連携することで、より便利な機能を実装できる！

管理者向けのデータ一覧
画面の作成



Power Apps

Power Appsのモデル駆動型アプリでは、Dataverseの列からデータのビューやフォームを自動的に生成することが可能
ビジネスプロセスを定義することで入力の手順ミスを防ぐことができる

自動メール送信機能・
指定時間での通知機能



Power Automate

Power Automateではプロセスの自動化ができ、Microsoftや他社の様々なサービスと接続が可能
トリガーとアクションを設定していくことで、柔軟なワークフローが構築できる

データの統計処理・
表やグラフの作成

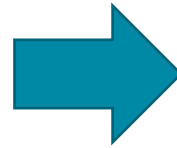


Power BI

Power BIはデータ分析を行うプラットフォームであり、数百もの手段でデータの視覚化、組み込みのAI機能、Excelとの緊密な統合ができ、個人から組織全体までの規模で活用が可能

問題解決 & 利便性UP！

- ・ どこにいるかが把握できない...
- ・ 結局固定席になりがち...
- ・ できれば追加費用を払いたくない...
- ・ 機能が多すぎる...



- ✓ 誰がどこの座席を使用しているかを検索できるため、席選びと人を探すことが簡単になった！
- ✓ 既存のライセンスで開発が行えたので低コストで実現できた！
- ✓ 必要な機能のみを実装して使いやすいアプリにすることができた！

+ α

- ✓ 他のPower Platformサービスとの連携（Power Automate, Power BIなど）
- ✓ 既存のExcelやSharePoint ListをDataverseの代わりとして用いることも可能
- ✓ 使い方を覚えた社員が独自にアプリを作ってさらなる業務改善を期待！

ご視聴いただき、ありがとうございました。
お気軽にお問合せください。



〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2丁目15番1号 渋谷クロスタワー

03-3486-1520（平日9:00～18:00受付）

<https://www.softcreate.co.jp/>

Copyright(C)2022 SOFTCREATE CORP.